

事業名	人・農地プラン推進事業
-----	-------------

総事業費	522 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	多様な担い手育成

② 実施 (Do)

事業の意図	地域の中心的経営体（担い手）と農地の出し手となり得る農家を明確化する。 人・農地プランの実質化	
事業の実績 と 成果	取組内容	農地の貸付意向や後継者の有無等のアンケート未提出者の回収を行った。 耕作者の年齢階層別や後継者の有無の現状を記載した地図に加え、5年後の状況を見える化した地図を作成した。（25地区） また、28地区のうち25地区で集落・地域での話し合いを行った。 話し合いの結果を取りまとめ、各地区のプラン（将来方針）を作成し、それを検討会に諮り、実質化された人・農地プランをホームページに公表した。
	成果	アンケートにより農地の貸付意向や後継者の有無等を把握できた。 地図を作成したことにより農地の現状や5年後の状況を把握することができた。 地域の農業の在り方や今後を担う中心経営体は誰なのか等話し合うことができた。 市内28地区すべての人・農地プランを実質化することができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	人・農地プランは、作成するだけではなく、実行することが大切であり、プランに定めた将来方針の実現に向けても、関係機関一体となって支援していく必要がある。 地域で農地を守ろうという関心が低いので、地域での話し合いを再活性化し、中心経営体との具体的なマッチングにつなげ、農地の集積・集約化を進めていく必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	人・農地プランの実質化に向けて集落・地域での話し合いを開催し、プランの実質化を完了した。今後、関係機関が協力してプランを実行していくことになる。がんばっていただきたい。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	人・農地プランの実現に向け関係機関一体となって支援していく。 新たに人・農地プランに位置付ける必要が生じた場合に、プランの見直しを行う。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	5～10年後の農地利用に関するアンケート調査の結果を基に、農業者の年齢階層別の就農や後継者の確保の状況を地図化し、プランの地域ごとに地域の農業の在り方や今後を担う中心経営体に関する方針等について話し合いを行い結果をとりまとめ実質化された人・農地プランを作成した。

事業名	援農隊マッチング支援事業
-----	--------------

総事業費	10,021 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	多様な担い手育成

② 実施 (Do)

事業の意図	農業労働力不足の解消	
事業の実績 と 成果	取組内容	農業従事者の高齢化や後継者の減少、経営規模拡大等により生じる労働力不足に対して農業雇用労働力を支援し、運営主体である市農業振興公社に補助金を交付する。
	成果	運用主体である西之表市農業振興公社に補助金を交付することで、労働力不足の解消につながった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	農閑期における援農隊の仕事の確保が課題である。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	農家にとって良い事業であるが、2年度で国の補助がなくなり、3年度は一般財源での対応となる。予算の確保と閑散期の対応が課題である。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	昨年同様、農業労働力不足の農家に対して農業雇用労働力を支援する。
-----------	----------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	さとうきび畑での農業散布

事業名	西之表市農業振興公社支援事業
-----	----------------

総事業費	5,609 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	多様な担い手育成

② 実施 (Do)

事業の意図	業務運営の適正化及び健全化を図る。	
事業の実績 と 成果	取組内容	農業の技術と経営感覚を習得させる機関として営農大学校を運営し、新規就農者の確保する。また、西之表市農業振興公社の業務運営を支援する為に、農業用機械の更新を行った。
	成果	営農大学校において30年度は1人入学し、生徒は2人となり、農業の技術と経営感覚を習得させる機関として運営した。また、西之表市農業振興公社の農業用機械の更新を行い、業務運営を支援した。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	営農大学校の生徒の確保と老朽化した農業機械の計画的更新。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	農業機械の更新を長期的に計画しているが、公社の運営について負担金の増も視野に入れるべき時期である。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	市農業振興公社及び営農大学校の運営補助。
-----------	----------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	担い手育成推進事業
-----	-----------

総事業費	358 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	多様な担い手育成

② 実施 (Do)

事業の意図	担い手等の経営改善を支援	
事業の実績 と 成果	取組内容	各協議会への負担金交付及び補助金交付
	成果	担い手育成に向け活動している協議会の運営支援及び個人に対して機械導入の支援を行った。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	認定農業者も高齢化してきており、5年後、10年後を見据えて、若い担い手の育成が求められている。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	コロナウイルスの影響で、会議が書面議決、研修会が中止となった。 若者が集まった後の支援の道筋はできている。本市の農業を魅力あるもの（儲かる）にすることが課題である。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	担い手の確保、育成を行う。
-----------	---------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	農業人材力強化総合支援事業
-----	---------------

総事業費	14,250 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	多様な担い手育成

② 実施 (Do)

事業の意図	新規就農後、定着してもらう。	
事業の実績 と 成果	取組内容	農業次世代人材投資資金の交付 交付対象者との面談、指導 交付対象者のほ場巡回
	成果	認定新規就農者に農業次世代人材投資資金を交付し、定着させることで担い手の育成につなげていく。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	対象者が資金を基に資本整備を進める5年間であってほしいが、実態は生活費に充てられている現状が多い。資金交付後5年後には農業で生計を維持できるようにする必要がある。技術面だけでなく、経営面の指導も重要である。市担い手育成総合支援協議会と連携しながら個人面談・ほ場巡回・パソコン簿記・研修会の開催を行いながら支援をしていく必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	新規就農に対して本気度がある人を対象にしていることで、新規認定者が減っている。入り口を広げてもいいが、交付金狙いの輩は排除すべきである。県やJAの指導員が少なくなっているのも問題である。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	農業に意欲のある新規就農者への支援を行う。
-----------	-----------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	農地集積バンク事業
-----	-----------

総事業費	1,240 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	多様な担い手育成

② 実施 (Do)

事業の意図	農地を地域の中心的経営体に集積する。	
事業の実績 と 成果	取組内容	農地貸借の相談業務・貸借書類の作成・現地確認・協力金該当の審査・協力金交付申請事務・調査への回答。
	成果	中間管理事業を活用した農地が増えた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	高齢化により経営規模を縮小する担い手が増え、遊休農地が増えつつある一方、担い手不足で借り手がみつからない地域もある。中間管理事業を活用してもらう担い手をみつけることが課題。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	2年度は、高収益作物次期作交付金の申請等で相対での貸借の分を中間管理事業を活用したため、大幅に集積できた。中間管理事業を活用すればするほど事務量が増えていく。県地域振興公社、市農業委員会と協力して職員の負担軽減を図っていきたい。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	事業推進員による重点地区・担い手農家を中心とした集積を進めていく。
-----------	-----------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	さとうきび反収向上対策事業
-----	---------------

総事業費	13,344 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	多様な担い手育成

② 実施 (Do)

事業の意図	さとうきび10アール当収量の増加	
事業の実績 と 成果	取組内容	農業振興公社へ作業委託をしたさとうきび生産農家へ作業料金の一部助成及び夏・秋植えに掛かる経費の一部助成を行った。
	成果	作業委託することで適期作業が可能となり、生産量の増加を図った。また作業料金や夏・秋植えに対する一部助成をすることで、反収向上を図り、経営の安定化へ繋げた。しかし、台風被害や地力の低下、メイチュウによる種苗の被害などが、目標を大幅に下回った大きな要因と考えられる。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	国庫事業で作業料金の一部助成が補助対象となる場合があるが、台風などの自然災害発生時や12月補正予算にて事業の公募が始まるため、予算要求額と執行額に大きなズレが生じてしまう。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	農業振興公社に作業委託をしたさとうきび生産農家へ作業料金の一部助成で経営の安定が図られた。高齢化と担い手不足が加速される中、公社への作業受託も増えてきており、今後も継続が必要である。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	反収を向上させる一環として、適期肥培管理を図るための農業振興公社への作業委託の推進だけでなく、夏植え・秋植えの新植推進を積極的に行う。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	さとうきび種苗供給安定化対策事業
-----	------------------

総事業費	1,188 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	多様な担い手育成

② 実施 (Do)

事業の意図	さとうきび10アール当収量の増加	
事業の実績 と 成果	取組内容	原苗ほを設置し、優良種苗の増殖を行い、その増殖した苗をさとうきび生産農家へ供給（販売）した。
	成果	種苗の更新により、生産量及び品質の向上を図った。しかし、台風被害や地力の低下、メイチュウによる種苗の被害などが、目標を大幅に下回った大きな要因と考えられる。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	供給した種苗の病害虫被害の苦情や、県費（1/3以内）が毎年減額されており、原苗ほ設置者の負担が大きくなっていることから、原苗ほ設置者（設置面積）の確保に苦慮している。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	種苗の育苗は、非常に重要であり、優良種苗をより多く供給することが、品質の安定及び収量確保に繋がることから、本事業は有効である。さつまいも基腐病の被害拡大によって、さとうきびへの転換による面積拡大が予測され、今後、苗の安定供給が課題となる。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	優良種苗（無病苗）の原苗ほを設置し、種苗更新を推進する。
-----------	------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	さとうきび基幹作業機整備事業
-----	----------------

総事業費	5,446 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	多様な担い手育成

② 実施 (Do)

事業の意図	さとうきび生産量・生産額の増加	
事業の実績 と 成果	取組内容	さとうきび機械共同利用組織や作業受託組織を対象に、さとうきび基幹作業機械（中耕培土機2台）の導入及びハーベスタの機能向上（1台）に係る経費の一部助成を行った。
	成果	機械導入により受委託体制の強化を図り、生産量及び生産額の増加に努めたが、台風被害や地力の低下、メイチュウによる種苗の被害などが、目標を大幅に下回った大きな要因と考えられる。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	受委託体制の更なる強化を図るためにも、導入機械や実施主体の選定については、事業効果のより高いものを優先して実施していきたい。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	高齢化に対応するために機械化による作業の効率化を図り、受委託体制を強化することで生産量の確保につなげるために必要な事業である。ハーベスタの老朽化してきているため、計画的な機械更新をしていくべきであり、今後も継続していくべき事業である。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	機械導入による受委託体制の強化と耐用年数の超過したハーベスタの機能向上を推進する。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	プロジェクト108推進事業
-----	---------------

総事業費	79 千円
------	-------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	多様な担い手育成

② 実施 (Do)

事業の意図	さとうきび及び澱粉用甘しょ10アール当収量の増加	
事業の実績 と 成果	取組内容	反収向上と経営安定化を目的に、ドローン散布による薬剤効果試験、メタン発酵消化液散布ほ場の収量調査等を行った。
	成果	上記各種取組みを行い、10アール当収量の増加に努めたが、さとうきびにおいては、台風被害や地力の低下やメイチュウによる種苗の被害、澱粉用甘しょにおいては、サツマイモ基腐病の被害拡大などが、目標を大幅に下回った大きな要因と考えられる。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	新型コロナウイルス感染拡大により先進地視察や研修会への参加が出来なかった。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	反収を向上させるために生産現場で必要なことは、これまでの実証試験等で成果があり、2年度で終了とした。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	事業主体の解散により廃止
-----------	--------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明